

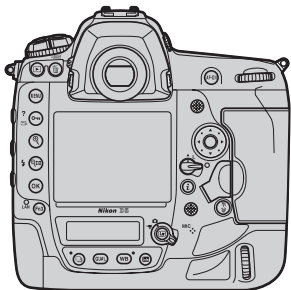
Nikon



D5 Professional

推奨設定ガイド

— 動画編 —
Revision 1.0



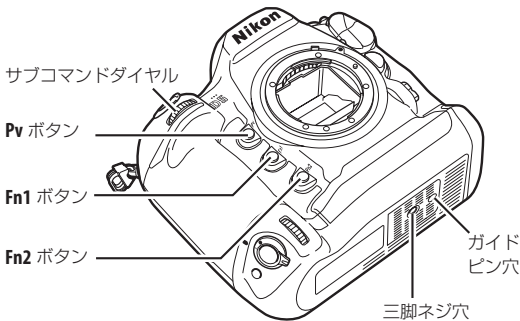
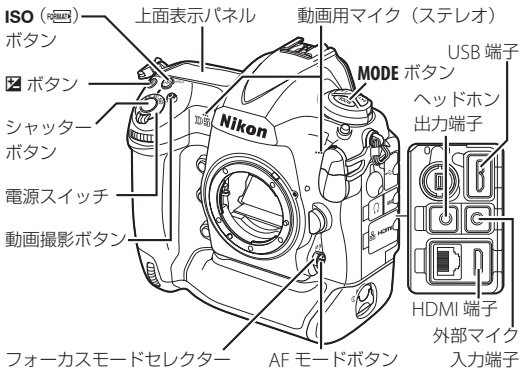
Jp

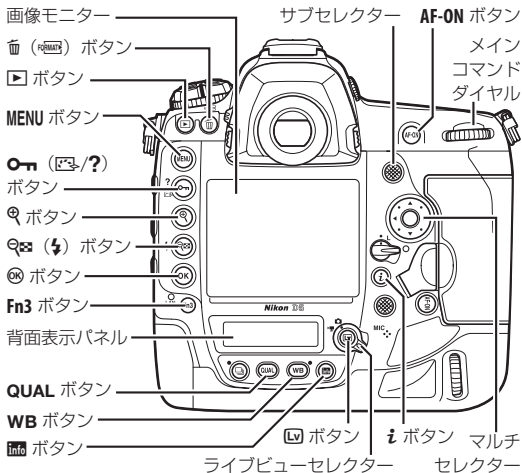
目次

動画撮影に使用するボタンやダイヤル	4
動画の撮影方法.....	6
動画記録を開始する前の準備	8
● 画像サイズ / フレームレート.....	8
● 動画 ISO 感度設定.....	10
● ピクチャーコントロール CHECK IT OUT ✓	11
● ホワイトバランス	12
● マイク感度.....	13
● 録音帯域.....	13
● 風切り音低減.....	13
動画撮影に便利な機能	14
● 動画撮影時の情報表示を切り換える	14
● ボタンに機能を割り当てる CHECK IT OUT ✓	18
● 電子手ブレ補正を使用する CHECK IT OUT ✓	22
● 動画撮影時に i ボタンを押して設定を変更する	23
● 動画撮影時にホワイトバランスを変更する.....	24
● ライブビュー時にピクチャーコントロールを変更する.....	25
● 動画撮影時に静止画を撮影する CHECK IT OUT ✓	26
● 撮影済みの 4K UHD 動画から JPEG 画像を切り出す	28
● HDMI 機器に出力する.....	29
タイムラプス動画を作成する	32
● タイムラプス動画の作成方法	32
● インターバル撮影、微速度撮影および無限連写機能の特徴.....	32
● 各撮影機能の仕様	34
● 4K UHD サイズでタイムラプス動画を作成する	35

動画撮影時の注意	37
● 撮影中に設定できる事・できない事	37
● カメラが高温になるのを抑えるには	37
● 動画記録時に発生しやすい現象について	38
● 記録した動画の保存について	38
動画再生時の便利な機能	39
● 10 秒進める / 10 秒戻す	39
● インデックスマークに移動する	39
● 先頭フレーム / 最終フレームに移動する	39
● タッチパネルで操作する	40
分割記録された動画を結合する CHECK IT OUT ✓	41
D5 動画機能関連スペック一覧	43

動画撮影に使用するボタンやダイヤル

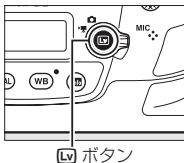




画像モニターにはタッチパネルを採用しており、動画の再生時に使用できません (P.40)。

動画の撮影方法

- 1** ライブビューセレクターを
Lv（動画ライブビュー）に合
わせ、**Lv** ボタンを押す

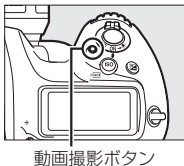


- 2** 動画撮影を開始する前に、**AF-ON** ボタンを押すか、また
はシャッターボタンを半押し
して被写体にピントを合わせ
る



- 3** 動画撮影ボタンを押して、動
画記録を始める

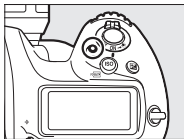
- 動画記録中は録画中マークが画像モニターに表示されます。メモリーカードに記録できる残り時間の目安も画像モニターで確認できます。
- 動画記録中も、**AF-ON** ボタンを押すと被写体にピントを合わせられます。
- 内蔵マイクで音声を記録します。録画中は、マイクを指でふさがないようにしてください。
- 露出を固定（AE ロック）するには、サブセレクターの**中央**を押し続けます（[P.20](#)）。
- 動画記録中は± 3 段の範囲で露出補正ができます。



4

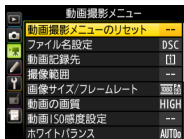
もう一度動画撮影ボタンを押して、動画記録を終了する

- **[Lv]** ボタンを押すとライブビューが終了します。



動画記録を開始する前の準備

動画の記録を開始する前に、動画の作
画の状況に応じて動画撮影メニューから
次の設定を行ってください。



● 画像サイズ / フレームレート

使用用途に合わせて、画像サイズとフレームレートを選びます。

	画像サイズ / フレームレート	最長記録時間
	3840 × 2160 (4K UHD) 30p	29分59秒*
	3840 × 2160 (4K UHD) 25p	
	3840 × 2160 (4K UHD) 24p	
	1920 × 1080 60p	
	1920 × 1080 50p	
	1920 × 1080 30p	
	1920 × 1080 25p	
	1920 × 1080 24p	
	1280 × 720 60p	
	1280 × 720 50p	
	1920 × 1080 60p クロップ	
	1920 × 1080 50p クロップ	
	1920 × 1080 30p クロップ	
	1920 × 1080 25p クロップ	
	1920 × 1080 24p クロップ	

※ 動画は最大8個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイルサイズは最大で4GBです。分割された動画は、ViewNX-iを使用して結合できます (P.41)。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイルあたりの記録時間は「**画像サイズ / フレームレート**」および「**動画の画質**」の設定によって異なります。

撮像範囲について

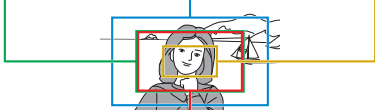
動画の画角は、動画の画像サイズまたは「撮像範囲」によって異なります。また、動画の画像サイズを 1920 × 1080 または 1280 × 720 に設定した場合、動画撮影メニュー「撮像範囲」の「撮像範囲設定」で画角を変更できます。

3840 × 2160
(4K UHD)



1920 × 1080,
1280 × 720

(撮像範囲設定：FX) 1920 × 1080 クロップ



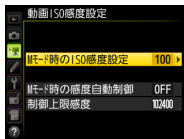
1920 × 1080、1280 × 720
(撮像範囲設定：DX)

- 3840 × 2160 (4K UHD) では、DX レンズでも撮影が可能です。

動画記録を開始する前の準備

● 動画 ISO 感度設定

動画撮影時（ライブビュー時または動画記録時）の ISO 感度に関する設定ができます。



Mモード時のISO感度設定	露出モード M での動画撮影時の ISO 感度（100～Hi 5）を設定できます。
Mモード時の感度自動制御	[する] を選ぶと、露出モードが M のときもカメラが自動的に動画撮影時の ISO 感度を変更します。 [しない] を選ぶと、露出モードが M のときに、[Mモード時のISO感度設定] で設定した ISO 感度に固定されます。 <ul style="list-style-type: none">露出モードが M 以外の場合は常に感度自動制御が動作します。
制御上限感度	<ul style="list-style-type: none">感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、上限感度（200～Hi 5）を設定できます。露出モードが P、S、または A の場合と、露出モード M で [Mモード時の感度自動制御] が [する] の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。

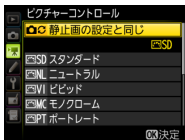
感度自動制御についてのご注意








ISO 感度が上がると、被写体によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生したり、ピントが合いにくくなる場合があります。その場合は、[**動画 ISO 感度設定**] の [**制御上限感度**] を下げて撮影してください。

● ピクチャーコントロール

被写体や撮影シーンに合わせてピクチャーコントロールを設定します。

- ・ [静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影時と同じ設定になります。
- ・ 動画とピクチャーコントロールの [フラット] を組み合わせた場合、動画のポストプロダクション時に豊富な情報を持つ素材映像として非常に有効です。ハイライト部の情報をしっかり確保したい場合には、ハイライト重点測光を併用することで被写体のハイライト部分の白とびを抑えることができます。



 SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 ・ ほとんどの撮影状況に適しています。
 NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 ・ 撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
 VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 ・ 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
 MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 PT ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
 LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
CHECK IT OUT  FL フラット	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。 ・ 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。

動画記録を開始する前の準備

● ホワイトバランス

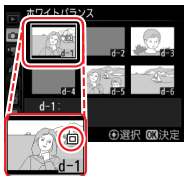
天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更します。

- ・ [静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影時と同じ設定になります。



プリセットマニュアルデータの取得について

- ・ プリセットマニュアルデータを取得すると、画像モニターに表示されている被写体の白、またはグレーの部分でプリセットマニュアルデータを取得できます。無彩色の被写体を用意する必要がないので便利です。
- ・ ホワイトバランスを [プリセットマニュアル] に設定して、ライブビュー表示中に **WB** ボタンを押し続けるとプリセットマニュアル取得モードになります。画面の **PRE** が点滅中に、画像モニターにタッチすると、タッチした位置に □ が移動してプリセットマニュアルデータを取得できます。🔍 ボタンを押すと、□ で選択された部分が拡大します。
- ・ **WB** ボタンを押すとプリセットマニュアル取得モードを終了します。
- ・ 動画撮影メニュー [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選ぶと、プリセットマニュアルデータを確認できます (d1-d6)。ライブビューで取得したプリセットマニュアルデータにはタッチした部分の □ が表示されています。





● マイク感度

内蔵マイクの感度の程度を設定します。別売のステレオマイクロホン ME-1、ワイヤレスマイクロホン ME-W1 にも対応しています。

マイク感度 オート (A)	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
マイク感度 マニュアル	マイク感度を手動調整します。[1] ~ [20] の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。
録音しない	音声は記録しません。

● 録音帯域

内蔵マイクの周波数特性を設定します。

 WIDE 広帯域	低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの録音など、幅広いシーンに適しています。
 VOICE 音声帯域	主に人の声を録音したいときに適しています。

● 風切り音低減

[する] を選ぶと、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなる場合があります。

- 別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で **[風切り音低減]** を [する] に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

動画撮影に便利な機能

● 動画撮影時の情報表示を切り換える

Info ボタンを押すたびに、動画の画面表示は次のように切り替わります。



警告表示について

カメラ内部の温度上昇によりライブビューが終了する場合、終了30秒前から赤字で表示します。

バッテリーの残量が残りわずかな場合に表示します。

メモリーカードが入っていない場合に表示します。



情報表示について

動画撮影時（ライブビュー時または動画記録時）に表示される画面のアイコンの意味は次の通りです。



① ヘッドホン音量	市販のヘッドホン接続時に表示されます。ヘッドホン出力の音量レベルを表示します。
② マイク感度	マイク感度のレベルを表示します。
③ 音声レベルインジケーター	音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケーターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。
④ 録音帯域マーク	録音帯域の設定を表示します。
⑤ 風切り音低減マーク	風切り音低減が有効の場合に表示します。
⑥ 動画記録禁止マーク	動画が記録できない状態のとき表示します。
⑦ 動画の画像サイズ	動画の画像サイズを表示します。
⑧ 動画記録残り時間	動画記録時に、メモリーカードに記録できる残り時間を表示します。
⑨ ハイライト表示マーク	ハイライト表示が有効の場合に表示します。

⑩ ファイル名	記録中の動画のファイル名を表示します。
⑪ パワー絞り禁止 マーク	パワー絞りができないときに表示します。
⑫ 電子手ブレ補正 マーク	電子手ブレ補正が有効の場合に表示します。

ファイル名の文字色について

このカメラは、記録中の動画の容量が 4GB を超えると自動的にファイルを分割して記録します。ファイルが切り替わるタイミングでは、撮影中に表示されるファイル名の色が変化します。

通常	白色
30 秒前	黄色（点滅）
10 秒前	赤色（点灯）

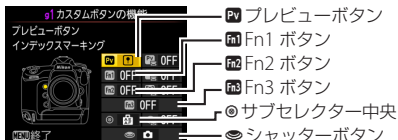


● ボタンに機能を割り当てる **CHECK IT OUT** ✓

カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] では、動画撮影時にボタンを押したときの機能を割り当てることができます。

■ ボタンを押したときの機能

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、マルチセレクターの**中央**を押してください。



- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

	Pv	Fn1	Fn2	Fn3	⊙	☺
⊙ パワー絞り（開放絞り側）	●	—	—	—	—	—
☺ パワー絞り（最小絞り側）	—	●	—	—	—	—
☑ 露出補正（＋側）	●	—	—	—	—	—
▲ 露出補正（－側）	—	●	—	—	—	—
📍 インデックスマーキング	●	●	●	●	●	—
📷 静止画撮影情報の表示	●	●	●	●	●	—
📷 AE-L/AF-L	—	—	—	—	●	—
📷 AE-L	—	—	—	—	●	—
📷 AE-L（ホールド）	—	—	—	—	●	—
📷 AF-L	—	—	—	—	●	—
📷 静止画撮影	—	—	—	—	—	●

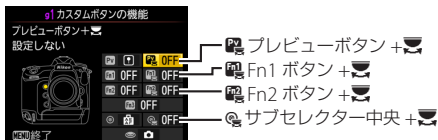
	Pv	Fn1	Fn2	Fn3	⊗	☺
📹 動画撮影	—	—	—	—	—	●
📹 動画撮影中のフレーム保存	—	—	—	—	—	●
設定しない	●	●	●	●	●	—

パワー絞りについて

- ・露出モード **A** または **M** のときのみ動作します。
- ・静止画撮影情報の表示中は、パワー絞りは動作しません。
- ・☺ マークが画像モニターに表示されているときは、パワー絞りは動作しません。
- ・パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

■ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能

- ・機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、マルチセレクターの中央を押してください。



- ・ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は、**[Fn] 撮像範囲選択** または **[設定しない]** です。すべてのボタンで同様です。**[Fn] 撮像範囲選択** を設定すると、**i** ボタンを押して表示されるメニュー ([P23](#)) または動画撮影メニューから **[画像サイズ/フレームレート]** を設定できなくなります。

露出補正の操作音が動画に入らないようにする

初期設定では、露出補正は **☑** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して行いますが、動画記録時に露出補正を行うと、メインコマンドダイヤルを回すクリック音が動画に入ってしまうことがあります。カスタムメニュー

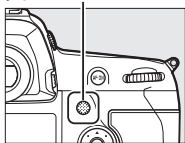


g1 [カスタムボタンの機能] で **Pv** ボタンに [露出補正 (+側)]、**Fn1** ボタンに [露出補正 (-側)] を割り当てると、ボタンを押している間、+側または-側に露出補正を行うため記録中の動画にクリック音が入りません。

被写体の露出を固定する

露出モードを **P**、**S**、**A** に設定しているときや、感度自動制御機能を使用して動画を撮影しているときに、被写体の露出を固定したい場合は、サブセレクター中央ボタンに [AE-L (ホールド)] を割り当てると便利です。


サブセレクター中央ボタン





- ・ サブセレクター中央ボタン 1 回押すと AE ロックを行い、AE ロック状態が維持されます。
- ・ 動画記録中にシャッターを全押しして静止画を撮影しても AE ロックは解除されません。もう一度ボタンを押すと AE ロックを解除します。

シャッターボタンで動画記録を開始する

シャッターボタンに [動画撮影] を割り当てると、シャッターボタンの半押しでライブビューを開始し、全押しで動画記録の開始と終了ができるようになります。

- ・ 三脚を使用して撮影する場合、別売のリモートコード MC-36A、MC-30A または別売のワイヤレスリモートコントローラー WR-R10、WR-T10 を使用することで、動画記録開始および終了時のボタン操作によるカメラブレを抑えることができます。
- ・ ライブビューセクターが  の場合のみの動作です。

カスタムメニュー f8 [ライブビューボタンの設定] を [無効] に設定すると、 ボタンを無効に設定できます。意図せずに  ボタンを押してもライブビューが開始しません。

Fn3 ボタンに機能を割り当てる

Fn3 ボタンが追加されたため、機能を割り当てられるボタンが増え、**Pv** ボタン、**Fn1** ボタン、**Fn2** ボタンの設定自由度が高まっています。たとえば **Fn3** ボタンに [インデックスマーキング] を割り当てておけば、**Pv** ボタンまたは **Fn1** ボタンにパワー絞りや露出補正を割り当てることができ、操作性が向上します。

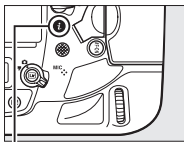
● 電子手ブレ補正を使用する **CHECK IT OUT** ✓

動画撮影メニューの「電子手ブレ補正」を「する」に設定すると、動画撮影時に電子手ブレ補正を行います。

- 動画の画像サイズ(P.8)が 3840 × 2160 および 1920 × 1080 クロップの場合、電子手ブレ補正は機能しません。
- 電子手ブレ補正を「する」に設定すると画角が小さくなるため少し拡大されます。
- 動画撮影メニュー「ISO 感度設定」(P.10)の「Mモード時のISO 感度設定」で高感度(Hi 0.3 ~ Hi 5)に設定していても、ISO102400に制限されます。
- 三脚にカメラを設置して撮影する場合は、「電子手ブレ補正」を「しない」に設定してください。

● 動画撮影時に **i** ボタンを押して設定を変更する

動画撮影時に **i** ボタンを押すと、次の機能の設定を変更できます。



i ボタン

撮像範囲設定	動画撮影時の撮像範囲を選べます (P.9)。
画像サイズ / フレームレート	動画を記録するときの画像サイズ (ピクセル) / フレームレートを設定します (P.8)。
動画の画質	動画の画質を選べます。
マイク感度	内蔵マイクの感度を、▲ または ▼ を押して調整できます (P.13)。
録音帯域	録音帯域内蔵マイクの周波数特性を設定します (P.13)。
風切り音低減	内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えるローカットフィルター機能を有効にするかどうかを設定できます (P.13)。
動画記録先	メモリーカードを 2 枚使用している場合に動画を記録するスロットを設定できます。
モニターの明るさ	<ul style="list-style-type: none"> • 動画撮影時の画像モニターの明るさを、▲ または ▼ を押して調整できます。 • 画像モニターの明るさを調整すると、ライブビュー中の表示に反映されますが、撮影した画像や画像再生時の表示、メニュー表示などには反映されません。
ハイライト表示	動画撮影時、ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示するかどうかを設定できます。
ヘッドホン音量	ヘッドホン音量を、▲ または ▼ を押して調整できます。
電子手ブレ補正	動画撮影時に電子手ブレ補正を行います (P.22)。

● 動画撮影時にホワイトバランスを変更する

動画撮影時に **WB** ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスの設定を変更できます。

メインコマンドダイヤルを回す

ホワイトバランスを変更できます。効果を確認しながら設定が可能です。

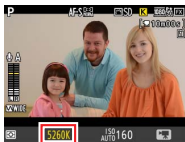


サブコマンドダイヤルを回す

- A (アンバー) から B (ブルー) への横軸の方向のみ色温度の高さを 0.5 段単位で微調整できます。



- **Ⓚ** (色温度設定) の場合：色温度がミレッド単位で切り替わります。**WB** ボタンを押しながらマルチセレクターの **⏪** または **⏩** を押すと、色温度を1桁ずつ選べます。**⏴** または **⏵** を押すと選んだ桁の数値を設定できます。



- ・プリセットマニュアルの場合：d1 - d6 を切り替えることができます。

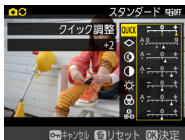


● ライブビュー時にピクチャーコントロールを変更する

ライブビュー中に **Fn** (Fn/?) ボタンを押すと、ピクチャーコントロールの設定を変更できます。効果を確認しながら設定が可能です。



- ・ピクチャーコントロール選択画面でマルチセレクターの **▶** を押すと、ピクチャーコントロールの調整を行えます。



● 動画撮影時に静止画を撮影する **CHECK IT OUT** ✓

シャッターボタンを押して静止画を撮影する

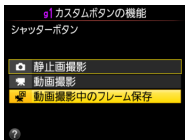
動画撮影時にシャッターボタンを全押しし続けると、静止画を撮影します。

- 動画記録中の場合、シャッターボタンを全押ししたタイミングで動画記録は終了し、そこまでの動画を記録します。
- シャッターボタンを全押ししても、ピントが合わない場合はシャッターがきれません。
- 撮影される静止画のアスペクト比（横:縦）は、16:9になります。
- 撮影できる静止画の画像サイズは次の通りです。1920 × 1080、1280 × 720 の場合、静止画撮影メニュー[画像サイズ]の[JPEG/TIFF] の設定によって、撮影される画像サイズが異なります。

動画の画像サイズ	撮影される静止画の画像サイズ
3840 × 2160	3840 × 2160 ピクセル
1920 × 1080、1280 × 720 (動画撮影メニュー [撮像範囲] が [FX] の場合)	L (5568 × 3128 ピクセル)
	M (4176 × 2344 ピクセル)
	S (2784 × 1560 ピクセル)
1920 × 1080、1280 × 720 (動画撮影メニュー [撮像範囲] が [DX] の場合)	L (3648 × 2048 ピクセル)
	M (2736 × 1536 ピクセル)
	S (1824 × 1024 ピクセル)
1920 × 1080 クロップ	1920 × 1080 ピクセル

動画の1フレームを静止画として保存する

カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] で [シャッターボタン] に [動画撮影中のフレーム保存] を割り当てておくと、動画記録中にシャッターボタンを全押ししても、動画記録を継続したまま静止画を撮影できます。撮影音は無音です。




【動画撮影中のフレーム保存】について

- 静止画の画像サイズ（ピクセル）は動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] (P.8) で設定した画像サイズと同じサイズになります。画質モードは [FINE ★] になります。
- レリーズモードに関係なく、シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。
- 撮影した静止画は動画と同じスロットに記録されます。
- 動画撮影中に記録可能な静止画は最大 50 コマです。



● 撮影済みの 4K UHD 動画から JPEG 画像を切り出す

〔選択フレームの保存〕を使用すると、撮影した 4K UHD 動画から任意の 1 フレームを JPEG 画像として切り出して保存できます。画像の切り出しは、動画の再生時に行います。



1 動画を再生して、保存したい位置で動画を一時停止する

- ・  を押すと一時停止します。

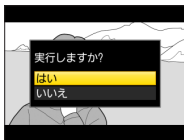


2 *i* または  ボタンを押して〔選択フレームの保存〕を選んで  を押す



3 保存したいフレームを選んで  を押し、〔はい〕を選んで  ボタンを押す

- ・ JPEG の画像として保存します。



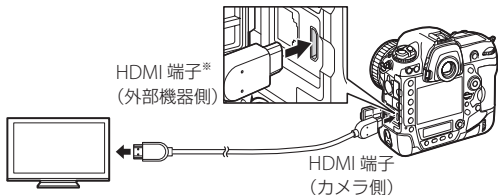
〔選択フレームの保存〕で作成した画像について

- ・ 画質モード [FINE ★] の JPEG 画像を作成します。
- ・ 画像編集はできません。
- ・ 再生時の画像情報で表示されない項目があります。

● HDMI 機器に出力する

HDMI ケーブルを使ってテレビと接続する

カメラを HDMI 端子のあるテレビなどと接続することができます。接続には、別売の HDMI 端子用ケーブルまたは市販の HDMI 端子用ケーブル（Type C）が必要です。別途お買い求めください。HDMI ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源を OFF にしてください。

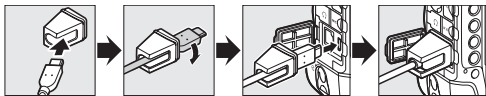


*使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

- テレビの入力を HDMI 入力に切り換え、カメラの電源を ON にして **▶** ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。
- 市販の外部レコーダーに接続した場合、カメラにメモリーカードを入れてなくても外部レコーダーに動画を記録できます。

HDMI ケーブルクリップについて

付属の HDMI ケーブルクリップを取り付けると、カメラから別売の HDMI ケーブルが不用意に外れることを防ぐことができます（HDMI ケーブルクリップは、市販の HDMI 端子用ケーブルには取り付けられません）。



HDMI 対応機器との接続時の設定を変更する

セットアップメニューの [HDMI] で、HDMI 対応機器との接続時の設定を変更できます。

■出力解像度

HDMI 対応機器への出力解像度を設定できます。

- ・ [出力解像度] が [オート] の場合、出力先の映像信号形式を自動的に検出します。



■詳細設定

出力レンジ	<p>ビデオ信号の色階調の入力レンジは、HDMI 対応機器によって異なります。通常は、HDMI 対応機器に合わせて自動でカメラの出力レンジを切り換える [オート] をお使いください。HDMI 対応機器の入力レンジを自動識別できず、階調が適切に再現されていない場合は、次のいずれかを選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ リミテッドレンジ：入力レンジが 16～235 の機器に適しています。白とび、黒つぶれが発生する高コントラストな場合に選びます。・ フルレンジ：入力レンジが 0～255 の機器に適しています。暗部が明るく表示されたり、薄く表示されるなど、低コントラストな場合に選びます。
出力画面サイズ	<p>HDMI 対応機器の画面に出力する範囲を、95%と100%から選びます（いずれも上下左右とも）。外部レコーダーに出力する場合は、100%に設定してください。</p>
ライブビュー時の情報表示	<p>HDMI 接続してライブビュー撮影をするときに、HDMI 対応機器に撮影情報を表示するかどうかを設定します。[しない] の場合は、撮影情報が表示されません。</p>
モニターの同時表示	<p>HDMI 対応機器との接続時に、カメラの画像モニターを点灯するかどうかを設定します。[しない] を選ぶと、画像モニターが消灯するため、カメラのバッテリーの消費を少なくすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [ライブビュー時の情報表示] が [しない] の場合、[モニターの同時表示] は [する] に固定されます。

タイムラプス動画を作成する

● タイムラプス動画の作成方法

タイムラプス動画は、インターバル撮影、微速度撮影、無限連写機能を使うことで作成できます。

- **インターバル撮影、無限連写機能**：撮影した静止画をパソコンに取り込み、他社製の動画編集ソフトなどを使用して作成します。高い処理能力を持つパソコンや、画像処理のスキルが必要です。ポストプロダクションで独自の編集・調整を加えたい場合などにおすすめします。
- **微速度撮影**：カメラが自動的に撮影した静止画をつなげて動画として記録します。

● インターバル撮影、微速度撮影および無限連写機能の特徴

それぞれの撮影方法の特徴は次の通りです。

インターバル撮影

インターバル撮影では、一定時間ごとに静止画を撮影します。

- 画像サイズや画質を調整して、思い通りのタイムラプス動画を作りたい場合に適しています。
- 画質モードをRAWにして、撮影後に色温度を調整したり、不要物が写っている画像の修正や削除ができるなど、高画質な動画を作成するための素材づくりが可能です。

微速度撮影

一定時間ごとに撮影した静止画をつなげて、カメラが自動的に動画を記録します。

- ・ 静止画を動画にするプロセスをカメラが全て行ってくれるので、簡単にタイムラプス動画を作りたい場合に適しています。
- ・ 動画になる前の静止画は記録できません。
- ・ ファイルフォーマットは MOV になります。ビットレートやサイズ、および画質は、動画撮影メニューの [画像サイズ/フレームレート] および [動画の画質] で設定できます。

無限連写

リリースモードが連続撮影 (CL、CH、QC) の場合、露出モードを **S** または **M** にしてシャッタースピードを 4 秒または 4 秒よりも遅く設定すると、カスタムメニュー d2 [連続撮影コマ数] での設定にかかわらず、電池の続く限りメモリーカードがいっぱいになるまで無制限に連続撮影できます。

- ・ 撮影間隔を通常撮影時と同じように短くできるため、スタートレイル撮影 (比較明合成) で星の軌跡が途切れる現象を最小限に抑えることができます。
- ・ 4 秒または 4 秒よりも遅いシャッタースピードという制約があるため使い方は限られますが、星やオーロラなどの撮影で露光時間が 4 秒以上の場合には、撮影終了から次の撮影開始までの間隔があいてしまう微速度撮影よりも、無限連写で撮影した素材で作成したタイムラプス動画の方が動きがスムーズになります。

タイムラプス動画を作成する

● 各撮影機能の仕様

		インターバル撮影	微速度撮影	無限連写
記録形式	静止画	RAW、JPEG、TIFF	—	RAW、JPEG、TIFF
	動画	—	MOV	—
最大画像サイズ		5568 × 3712 ピクセル	3840 × 2160 ピクセル	5568 × 3712 ピクセル
撮影間隔		0.5 秒以上	1 秒以上	C1 または C4 で設定した撮影間隔
露光時間		1/8000 ～ 30 秒	1/8000 ～ 30 秒	4 ～ 30 秒
用途		<ul style="list-style-type: none">より高度なタイムラプス動画の素材静止画による経過記録用	簡易なタイムラプス動画の作成	スタートレイル画像（比較明合成）やオーロラのタイムラプス動画の素材

● 4K UHD サイズでタイムラプス動画を作成する

動画撮影メニューの「画像サイズ/フレームレート」で動画の画像サイズを 3840 × 2160 に設定して微速度撮影を行えば、手軽に 4K UHD 動画サイズのタイムラプス動画を撮影できます。撮像範囲 (P.9) は 4K UHD と同様になります。

1

動画撮影メニューの「微速度撮影」を選び、微速度撮影の設定をする

- ・ 撮影間隔 (インターバル) を設定する



「撮影間隔」を選んで
⏪を押す

撮影間隔 (分、秒) を設
定して OK ボタンを押す

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードよりも長い時間を設定してください。

- ・ 撮影時間を設定する



「撮影時間」を選んで
⏪を押す

撮影時間 (分、秒) を設
定して OK ボタンを押す

- 撮影時間は、最長で 7 時間 59 分まで設定できます。

タイムラプス動画を作成する

- ・ 露出平滑化をするかどうかを選ぶ



「露出平滑化」を選んで
▶を押す

露出平滑化をするかど
うかを選んで OK ボタ
ンを押す

- 「[する]」を選ぶと、明るさの変化が滑らかになり、より自然な動画を記録します。ただし、露出モード **M** で静止画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [感度自動制御] が [しない] の場合、露出の平滑化は行いません。

2

「撮影開始」を選んで OK ボタンを押す

- ・ 約 3 秒後に撮影を開始します。
- ・ 手順 1 で設定した [撮影時間] 内に、設定した [撮影間隔] で撮影を繰り返します。
- ・ 微速度撮影を終了するには
 - 撮影待機中に動画撮影メニュー [微速度撮影] で [終了] を選び、OK ボタンを押す
 - 微速度撮影の待機状態や撮影直後の画像確認時に OK ボタンを押す
- ・ 微速度撮影を終了すると、終了時点までの動画がメモリーカードに記録され、通常の撮影待機状態に戻ります。



動画撮影時の注意

● 撮影中に設定できる事・できない事

動画撮影時（ライブビュー時または動画記録時）に絞り値、シャッタースピード、ISO 感度を設定できるかどうかは、露出モードによって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO 感度 ^{※1}
P、S	—	—	— ^{※2}
A	○	—	— ^{※2}
M	○	○	○ ^{※3}


- ※1 動画撮影メニューの [電子手ブレ補正] が [する] のときに ISO 感度が高感度 (Hi 0.3 ~ Hi 5) になった場合は、ISO102400 に制限されます。
- ※2 動画撮影メニュー [動画 ISO 感度設定] (P.10) の [制御上限感度] で ISO 感度の上限を設定できます。
- ※3 動画撮影メニュー [動画 ISO 感度設定] の [M モード時の感度自動制御] を [する] に設定した場合、[制御上限感度] で ISO 感度の上限を設定できます。

● カメラが高温になるのを抑えるには

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。

- ・ライブビュー時に **MENU** ボタンを押すと、ライブビューを保持した状態でメニュー画面が表示されます。すぐに撮影を再開しない場合は、一度ライブビューを終了してから **MENU** ボタンを押すようにしてください。

● 動画記録時に発生しやすい現象について

- 動画撮影時の画像モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 動きのある被写体が歪む
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
 - パワー絞りを作動中、画面にちらつきが発生する
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」が発生する場合があります。その場合、動画撮影メニュー [フリッカー低減] の設定を変更すると、フリッカー現象を軽減できます。被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- ライブビュー時に、 ボタンで画面を拡大した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が目立ちやすくなります。

● 記録した動画の保存について

- 次のような場合は、記録中の動画を保存して動画記録を自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達したとき
 - メモリーカードまたはバッテリーの残量がなくなったとき
 - ライブビューセレクターを切り換えたとき
 - レンズを取り外したとき
 - カメラの内部温度が上昇したとき
- 動画記録中にバッテリーを抜いた場合、記録中の動画は保存されません。

動画再生時の便利な機能

● 10秒進める / 10秒戻す

メインコマンドダイヤルを1クリック回すと、10秒前または後に移動します。



● インデックスマークに移動する

動画記録時に設定したインデックスマークに移動するには、サブコマンドダイヤルを回します。サブコマンドダイヤルを回すと、前後のインデックスマークに移動します。



● 先頭フレーム / 最終フレームに移動する

動画のフレームにインデックスマークがない場合にサブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。


インデックスマーク

- 動画記録中に、カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] (P.18) で [インデックスマーキング] を割り当てたボタンを押すと、記録中の動画のフレームにインデックスマークを付けることができます。
- インデックスマークは1つの動画に最大20個まで付けられます。



● タッチパネルで操作する

再生 / 一時停止する

画面上の  アイコンをタッチすると動画を再生します。動画再生中に画面をタッチすると一時停止し、一時停止中に画面をタッチすると再生を再開します。



 アイコン



再生位置をジャンプする

動画再生中にプログレスバーをタッチすると、再生位置をタップしたところまでジャンプして一時停止します。長い動画の場合、一気に目的付近の再生位置までジャンプできます。



プログレスバー

音量を調節する

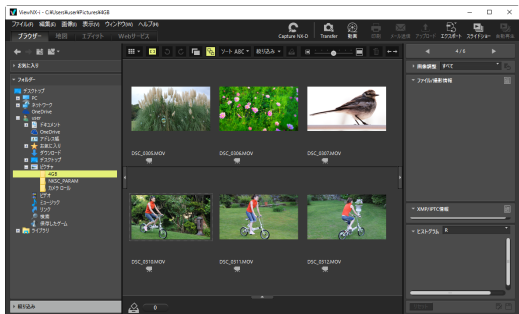
動画再生中に  または  アイコンをタップすると、音量を調節できます。



音量調節

分割記録された動画を結合する **CHECK IT OUT** ✓

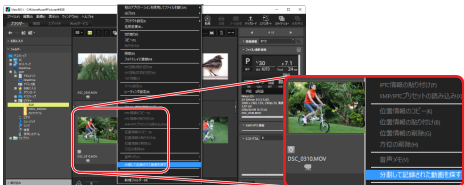
D5 で動画を撮影すると、最大 8 個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイルサイズは最大で 4GB です。分割された動画は、ViewNX-i を使用して結合できます。



1

結合したいファイルの 1 つを選んで右クリックし、**[分割して記録された動画を探す]** を選ぶ

- 一度の撮影で分割して記録された動画がすべて選択されます。

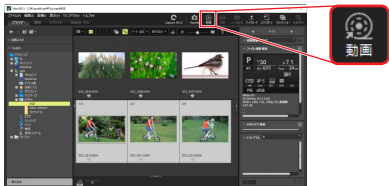


分割記録された動画を結合する

2

 (動画) ボタンをクリックする

- ViewNX-Movie Editor が起動します。



3

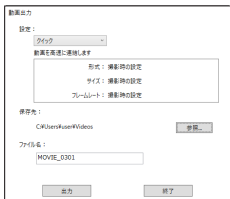
[動画を連結する] をクリックする



4

[保存先] と [ファイル名] を指定して [出力] をクリックする

- 選んだ動画が結合されて保存されます。



D5 動画機能関連スペック一覧

撮像素子

方式	35.9 × 23.9 mm サイズ CMOS センサー
総画素数	2133 万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得 (Capture NX-D が必要)

記録形式

記録媒体	・XQD カード対応機種：XQD カード ・CF カード対応機種：コンパクトフラッシュカード (Type I、UDMA7 対応)
------	---

動画機能

測光方式	撮像素子による TTL 測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数 / フレームレート	・3840 × 2160 (4K UHD) : 30p/25p/24p ・1920 × 1080 : 60p/50p/30p/25p/24p ・1280 × 720 : 60p/50p ・1920 × 1080 クロップ : 60p/50p/30p/25p/24p ※ 60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps ※ 標準 / ★高画質選択可能 (3840 × 2160 は★高画質のみ)
ビットレート	・3840 × 2160 (4K UHD) : 144Mbps ・1920 × 1080 60p/50p ★高画質 : 48Mbps ・1920 × 1080 60p/50p 標準 : 24Mbps ・1920 × 1080 30p/25p/24p ★高画質 : 24Mbps ・1920 × 1080 30p/25p/24p 標準 : 12Mbps ・1920 × 1080 クロップ ★高画質 : 24Mbps ・1920 × 1080 クロップ 標準 : 12Mbps
ビデオサンプリングレート	・内部記録 : 4:2:0 8bit ・HDMI 出力 : 4:2:2 8bit
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	48kHz、16bit、リニア PCM

D5 動画機能関連スペック一覧

動画機能	
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能（インピーダンス：2.2K Ω）、マイク感度設定可能
感度	<ul style="list-style-type: none">・露出モード M：ISO 100～102400（1/3、1/2、1ステップ）、ISO 102400 に対し約 0.3、0.5、0.7、1 段、2 段、3 段、4 段、5 段（ISO 3280000 相当）の増感、感度自動制御（ISO 100～Hi 5）が可能、制御上限感度が設定可能・露出モード P、S、A：感度自動制御（ISO 100～Hi 5）、制御上限感度が設定可能
その他の機能	インデックスマーク、微速度撮影、電子手ブレ補正
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	静止画の設定と同じ、オート（3 種）、電球、蛍光灯（7 種）、晴天、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル（6 件登録可、ライブビュー時にスポットホワイトバランス取得可能）、色温度設定（2500K～10000K）、いずれも微調整可能
ピクチャーコントロール	
ピクチャーコントロールシステム	静止画の設定と同じ、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
画像モニター	
画像モニター	3.2 型 TFT 液晶モニター（タッチパネル）、約 236 万ドット（XGA）、視野角 170°、視野率約 100%、明るさ調整可能
インターフェース	
USB	SuperSpeed USB（USB 3.0 Micro-B 端子）（標準装備された USB ポートへの接続を推奨）
HDMI 出力	HDMI 端子（Type C）装備

インターフェース

外部マイク入力	ステレオミニジャック (φ 3.5mm)、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm)

電源

使用電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL18a 1 個使用
AC アダプター	AC アダプター EH-6b (パワーコネクター EP-6 と組み合わせて使用) (別売)

三脚ネジ穴

三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
-------	----------------

Nikon